

令和2年9月18日

**環境放射能研究所 鳥居建男特任教授が
「日本原子力学会放射線工学部会賞（学術賞）」を受賞！**

本学環境放射能研究所の鳥居建男特任教授が、「日本原子力学会放射線工学部会賞（学術賞）」を受賞しました。

本賞は、原子力平和利用における放射線工学分野の発展や進歩を促すことを目的として、学術上または技術上の優秀な成果ならびに優れた貢献をなした個人またはグループを表彰するものです。今年度の受賞は鳥居特任教授の1件となっており、9月16日にオンライン授賞式が行われました。

今回、鳥居特任教授が福島第一原子力発電所事故発生後より取り組んでいる放射線分布の可視化技術の開発などが評価され、受賞の運びとなりました。

【受賞概要】

所 属：福島大学環境放射能研究所

（旧所属 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構）

受賞名：日本原子力学会放射線工学部会賞（学術賞）

業 績：福島第一原子力発電所における放射線分布の可視化の研究及び長年にわたる本部会への寄与

受賞理由：

鳥居特任教授は福島第一原子力発電所事故発生後より、放射線分布の可視化技術の開発に精力的に取り組み、精度の高い計測データを提供することで汚染状況の把握や帰還計画の策定に貢献してきました。

また、計測機器から得られるデータに埋もれている情報の取得にも取り組んでおり、放射線計測が今後発展すべき方向を指し示すような研究を展開しているほか、小型ドローンに搭載したコンプトンカメラといった福島廃炉での活用が期待される技術開発も行っています。

なお、鳥居特任教授は、これまで航空機モニタリングによる放射性ヨウ素・放射性セシウムの沈着分布計測の業績に対して平成27年度の原子力学会技術賞などを受賞しています。

【日本原子力学会について】

1959年に設立された原子力および放射線の平和利用に関する学術および技術の進歩を図り、その成果と普及を進め、環境の保全と社会の発展に寄与することを目的とする学会。会員数は6,659名（2019年度末現在）。

（お問い合わせ先）

環境放射能研究所特任教授 鳥居建男

電話：024-503-3017

メール：t.torii@ier.fukushima-u.ac.jp